（様式１）

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県レスリング協会]

[記載日：令和８年３月１日]

【対応状況に係る自己評価】

Ａ：対応している

Ｂ：一部対応している

Ｃ：対応できていない

項目	対応状況
原則１　法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は，団体に適用される法令を遵守しているか。	―
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）	
(2) 法人格を有しない団体は，団体としての実体を備え，団体の規約等を遵守しているか。	Ａ
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・協会規約及び規程を遵守して、団体運営及び事業運営を行っている。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	Ａ
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・関係する法令及び条例等を遵守している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	Ａ
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・当協会に理事 22 名を置き、理事代表は会長の任にあたり、以下副会長、理事長、事務局長等を選任している。 ・監事２名を置く。	
原則２ 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	Ａ
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・協会規約において目的及事業について規定しており、協会ホームページで公表している。	

原則３ 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・総会において、コンプライアンスに関する事例等の報告・説明を行っている。 ・協会主導によるコンプライアンス教育の実施については今後の課題である。	
(2) 指導者，競技者等に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・少年少女レスリング指導者・競技者は、各市町村のスポーツ少年団に属している。このことから教本等により自主教育は行われているが、協会として研修や各種講習会の開催はしていない。なお、研修等への参加機会があれば指導者等を出席させている。 ・高校の指導者に対しては情報提供を行っている。	
原則４ 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務･経理の処理を適切に行い,公正な会計原則を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・規約・会計処理規程に基づき、予算執行に当たっては適正かつ公正な会計処理に努めている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し，適正な使用のために求められる法令，ガイドライン等を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・長野県からの補助金については、関係要綱等の規程等に基づき適切に処理し、県の監査を受けている。 ・県倫理規程に定める補助金・助成金の処理に関し、不正を禁じ違反した場合は処分の対象になることを十分認識し、公正な事務処理をしている。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・規約に基づき、財務・経理担当者を配置し、適正かつ公正な会計処理を行っている。 ・当協会に監事２名を置き、会計処理や業務全般の監査を行っている。	

原則５ 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・収支報告については定期総会資料として協会ホームページにて開示している。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） ・年間活動計画・規約・役員名簿等について協会ホームページにて開示している。	
原則６ 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合，ガバナンスコード＜NF 向け＞の個別の規定についても，その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード＜NF 向け＞の規定があるか（ある場合は下欄に記述）	
原則■について	―
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）	
原則■について	―
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）	